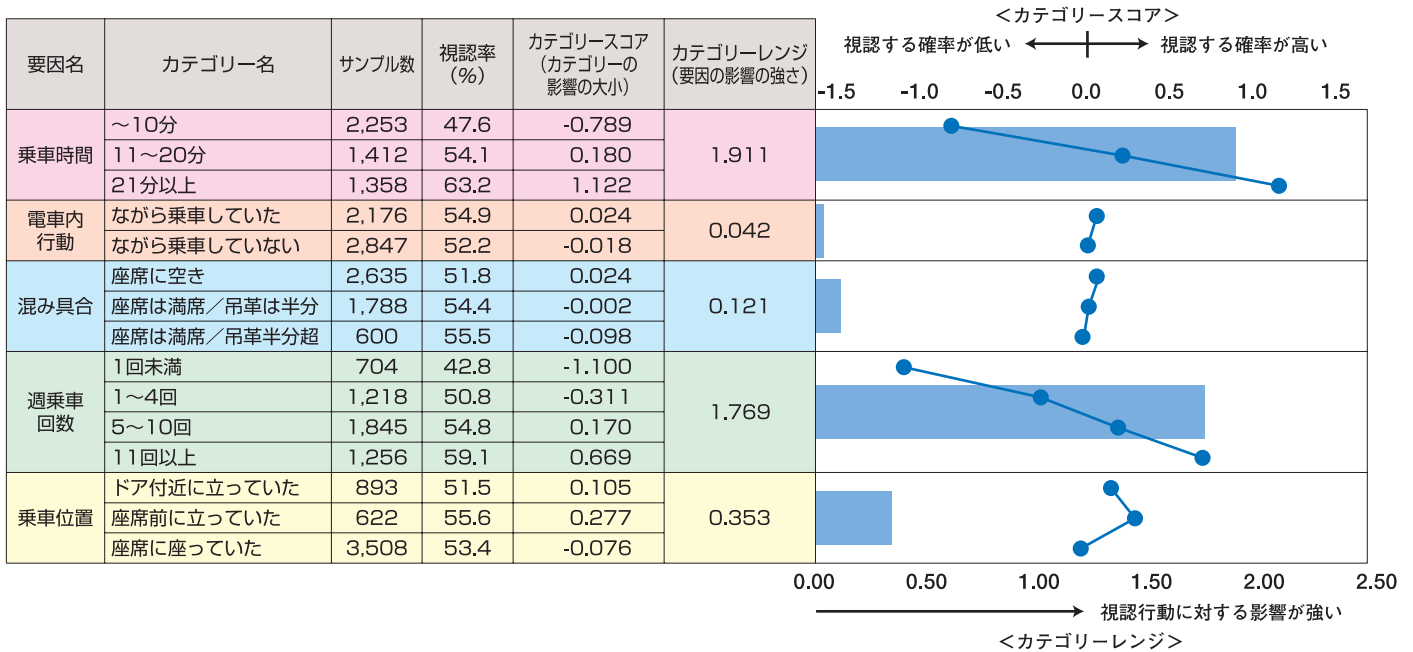
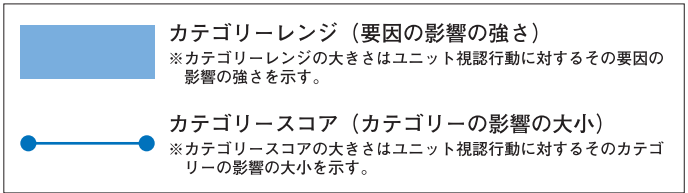


# まど上

## ユニット視認行動の要因分析の結果

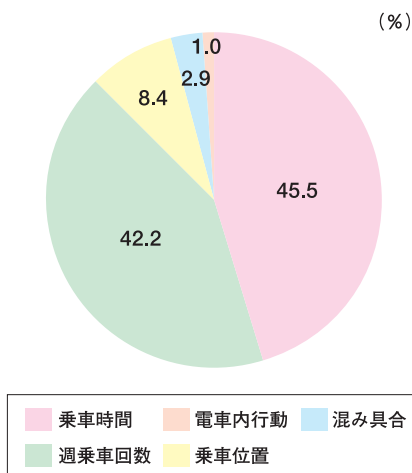
- まど上は「乗車時間」「週乗車回数」が強い要因になっている。「乗車時間」については乗車時間が長い方が、「週乗車回数」についても週乗車回数が多い方が、それぞれ視認率が高まる。
- 一方、まど上は「電車内行動」「混み具合」「乗車位置」にはあまり影響を受けない。



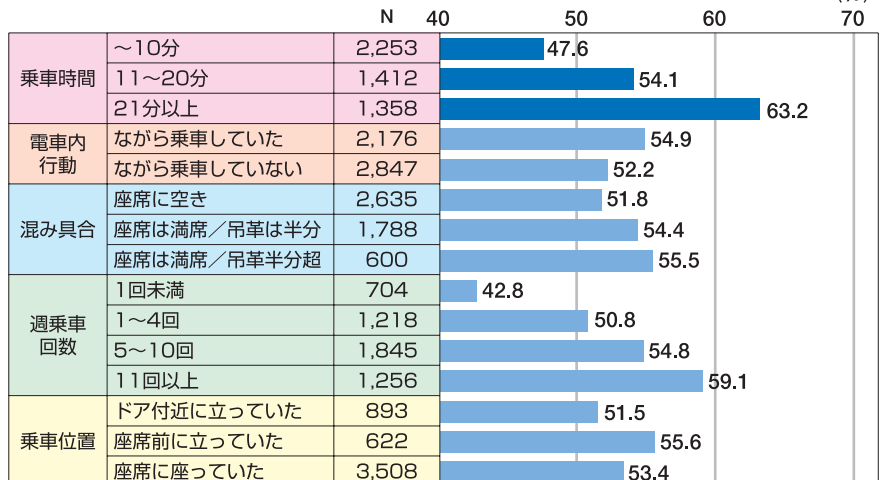
## ユニット視認行動に与える各要因の影響度と視認率

- まど上の各カテゴリーレンジの大きさを相対的にみると、「乗車時間」と「週乗車回数」が強い要因となっており、この2要因で影響度の9割弱を占める。
- また、要因別ユニット視認率をみると、
  - ・「乗車時間」については、「～10分」(47.6%) → 「11～20分」(54.1%) → 「21分以上」(63.2%) と乗車時間が長い方が視認率が高まる。
  - ・「週乗車回数」については、「1回未満」(42.8%) → 「1～4回」(50.8%) → 「5～10回」(54.8%) → 「11回以上」(59.1%) と週乗車回数が多い方が視認率が高まる。

■ ユニット視認行動に与える各要因の影響度



■ 要因別ユニット視認率



\* ユニット視認行動に与える各要因の影響度 (%) = 各要因のカテゴリーレンジ / 各要因のカテゴリーレンジの合計 × 100

\* 集計に際しては、04年調査、06年調査のサンプルを合わせて集計した。